

その後、学校運営協議会に関することや、学校・地域コーディネーターとして活動していくにあたり疑問に思うことなどをグループで共有しました。各グループの代表として選出された質問者が、記者になりきり、教育委員会事務局や講師に疑問を投げかけ、回答を聞く「ミート・ザ・プレス」という手法を活用したインタビュー形式のワークを行いました。

実際の質問と回答をいくつか紹介します。



Q：「地域学校協働本部を新設、リスタートする場合、何から始めるとよいか？」

A：・学校とコミュニケーションをとる。

- ・校長・副校長と会話をするところから始める。ポロっと話をしたことから始める。「何をしなければいけない」ではない。先生、親だけに限らずお互い意見を出して進めていく。
- ・養成講座の中でやったことや見守り、図書ボランティアなど既存の活動のとりまとめを行った。まずは組織をつくっていく。少しずつ広げていった。

Q：「地域や卒業生の保護者をまとめたいがなかなか難しい。外部を巻き込むためのアプローチ方法を知りたい。事故やケガも心配。」

A：・呼びかけ、町内会の役員などで広げる、回覧板、学校のHPに入れてもらう。

- ・けがや事故の場合ボランティア保険があるので、学校に相談してもらえれば保険が使える。

Q：COの立場は、学校の中でどれくらい確立されているのか。どこまでCOとして踏み込んで良いのか。

A：・学校と一緒に子どもたちのためにやっていくということは、学校と同じだと思っている。ありがたい存在として思っている。

- ・COとしては、核になる先生と関係を築いていくと広がっていくのではないかと。子どもたちから伝わってくることもあった。COさんの方が地域のことをよく知っていると感じている。

その他、様々な質問に対して、学校・地域コーディネーター、教育委員会事務局、元管理職、教職員等の立場から具体的な事例をもとに回答させていただきました。参加者の皆様は、積極的に発言したり熱心に耳を傾けたりしながら、それぞれ学校運営協議会や地域学校協働本部の活動について理解を深めていました。



研修の振り返り

(アンケートより抜粋)

・各地域や学校の意向や考え方、求められることが様々あり、その全てが子どもたちのためだと深く理解し、共感できた。

・各学校の活動報告がとても為になった。また、グループ別のディスカッションも決められた時間の中で有意義にできた。

・各コーディネーターの工夫や心意気を感じられてよかった。地域とのつながり方がわかった。

・子どもたちのために、学校教育目標を理解し、地域と学校をつなげ、学校運営に参画できるようにしたい。

・考えれば考えるほど、グループで話せば話すほど、疑問が浮き、グループの方と話すことで、深められた。



地域と学校の連携・協働による学校運営の改善研修 報告

6月27日、7月4日に地域と学校の連携・協働による学校運営の改善研修を実施しました。

今回は、学校運営協議会会長や委員の方々、学校・地域コーディネーター、教職員を対象にした研修を行いました。

前半は、講師として文部科学省CSマイスターの竹原 和泉氏に『学校運営協議会の可能性～子どもの学びと学校運営から考える～』をテーマに、講演いただきました。講演では、ご自身の豊富な経験をもとに、子ども・学校・地域の今日的課題やこれからのコミュニティースクールについてお話いただきました。そして、コミュニティースクールと地域学校協働活動の一体的推進を進める上での、コーディネーターの役割や課題について具体的事例を挙げながら説明いただきました。



後半では、竹原氏の講義の内容をもとに、以下の内容でグループワークを行いました。

○グループワーク『「地域と連携・協働した9年間の学び」を可視化する』

- ・各学校で地域学校協働活動として関わった学校の行事や学習活動を付箋に書く
- ・書いた付箋を月や学年に分けて、表に貼る
- ・それをもとにグループで共有し、考えたことを出し合う

共有の場面では、行事や活動の紹介や困り感などが話題に上がっていました。また「可視化することで行事の集中している月がわかりやすくなった。」や「それぞれの方向性を確認するのに有効だと感じた。」など、参加者からの感想が聞かれました。

最後には、各グループから出た質問に竹原氏が答えてくださいました。「地域コーディネーターとして、人と学校をつなぐことを意識するとともに、現状把握に努めることが大切である。」ことや、「教職員はどうしても異動が不可避なので、持続可能な形を模索し、持続的にやれる方法を考え、良い環境にするという気持ちをもってほしい。」など、日常の活動への質問に率直に回答いただきました。

竹原氏の講演を通して、それぞれの立場で関わる人たちが、それぞれ当事者として、担い手となって関わること、また、それぞれが主体的に考えるとともに、共通の目的をもって子どもを育てることが大切であるという事を改めて感じました。

今回の研修には、2日間で約130人に参加いただきました。今後も、各学校の実践例や好事例等を引き続き発信していくとともに、教育委員会事務局としても正しい制度理解や地域と学校の連携協働に関わる人の役割等を伝え、周知をしていきたいと考えています。引き続きよろしくお願いいたします。

研修の振り返り

(アンケートより抜粋)

・学校運営協議会に参加する
方の考えを知ることができ
た。「熟議」ができる協議会
を運営できる方法を模索して
いきたい。



・地域とのつながりが子どもの
育ちに重要であること、地域
の存続は問題にもなっている
ので、つながりが大事だと思
いました。



・今までは何となく、学校
運営協議会に参加して
いたが、とても大事な役
割であったと気づかされ
た。



・相談や連携など話しやすい雰囲気をつくって、お
互いに協力していく関係をつくっていくことが大
事だと感じた。すぐに管理職とも話して相談して
みたいと思う。

・様々な学校の方と話し合い、それぞれの学校
の取組がよくわかった。普段、地域との方々
との関わりについて話す機会がないので、
情報交換ができてよい時間となった。

学校における学習活動を研修向けにまとめた動画をご紹介します。

『NITS（独立行政法人教職員支援機構）校内研修シリーズ』

(<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/theme.html#theme02-01>)

学習活動は、どのような視点で行われているのかなど知る際に、ぜひご活用ください。

今年度の研修のお知らせ

※申込み方法等、詳細は、今後発出する通知でご確認ください。

学校運営協議会委員及び学校・地域コーディネーター及び 教職員合同研修

学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター、教職員を対象に研修を行います。
ぜひ、学校運営協議会等で対象の方々にお声掛けください。

1 日時及び会場

	日 時	会 場
1	10月21日（火）15:00～	花咲研修室
2	10月28日（火）15:00～	花咲研修室

- 2 内 容
- 実践校（新吉田第二小学校、新井中学校）による事例発表
 - グループでの情報交換

方面別 学校・地域コーディネーター研修・交流会②

学校・地域コーディネーターを対象に、今年度2回目の研修及び交流会を方面別に日時を設定して開催します。なお、1回目に実施した研修・交流会と内容は異なります。ぜひ、ご参加ください。

日時及び会場（今年度2回目）

日 時	会 場
11月13日（木） 午前の部（北部・西部方面） 9:30～ 午後の部（東部・南部方面） 14:30～	花咲研修室

※方面別に日時を設定しています。ご都合が悪い場合は他の方面の会に参加していただくことも可能です。

学校運営協議会の10月設置について

各学校の校長・副校長におかれましては、学校運営協議会の運営や設置についてご尽力いただき本当にありがとうございます。今回、10月の設置申請が令和7年度の最後の設置申請の機会になります。設置申請に向けて8月中に設置申請書類と委員名簿の提出をお願いいたします。（様式はY-CAN 学校支援・地域連携課のページに掲載）

	学校運営協議会 設置の機会
設置日	令和7年10月1日
申請書提出の締切日	8月中

★運営協議会委員の方々に制度の説明や役割のご説明、また、運営協議会の熟議の内容や運営方法についてなど、学校を訪問して個別に相談・説明させていただくことも可能です。その場合は、学校支援・地域連携課がうかがいますので、ぜひご連絡ください。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。
学校支援・地域連携課 671-3278